



BOSTON 空港でeFAROS の試運用が始まりました

参照 IFALPA Safety Bulletin 2014年6月30日発行

eFAROSとは？

eFAROS とは Enhanced Final Approach Runway Occupancy Signal の略で、最終進入を行っている航空機に対して、先行機によってまだ滑走路が占有されていることを知らせるためのシステムです。次ページに添付した IFALPA の Safety Bulletin では、ボストン空港 (KBOS) に飛行する乗員は NOTAM を十分に確認して飛行する事を推奨しています。またフィードバックも HP 上で受け付けています。

eFAROS のフィードバック用 URL : www.eFAROS.org

概要

ボストン空港において、Runway Incursion を防止する目的で導入されました。最終進入中の航空機に対して PAPI を点滅させることで、まだ滑走路は占有されている＝着陸には不安全である旨を Pilot に知らせるシステムで、全自動であり管制官によってコントロールされません。また、当然ながらこの点滅の有無は管制許可（着陸許可など）ではなく、アドバイザー情報です。



推奨されるPilotの手順

<約 500ft AGL>

System : 約 500ft AGL でこのシステムは航空機を捕捉し、PAPI を点滅させる

Pilot : 滑走路路上に Traffic の有無を目視確認すべく試みる

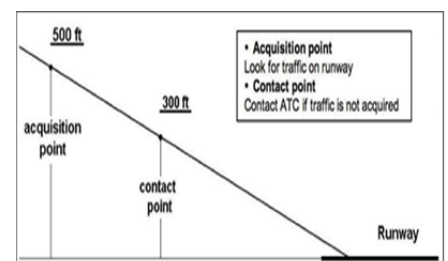
: 目視確認出来なければ、約 300ft AGL にて ATC に通報する

<約 300ft AGL>

System : 約 300ft AGL にて PAPI の点滅が継続している場合

Pilot : 目視確認できない場合は ATC に通報し、着陸許可を確認するとともに G/A に備える

: 着陸許可が不確実な場合や ATC が着陸許可を取り消した場合は速やかに G/A を行う



以上